

## 【足立区地域自立支援協議会くらし部会】会議概要

会議名	令和4年度 第3回 【足立区地域自立支援協議会くらし部会】		
事務局	福祉部 障がい福祉センター		
開催年月日	令和4年12月6日（火）		
開催時間	午後2時00分 ～ 午後4時00分		
開催場所	障がい福祉センター 5階ホール		
出席者	WEB参加		
	酒井 紀幸 部会長	三瓶 善衛 委員	森 哲也 委員
	来場参加		
	鈴木 真理子 委員	池田 輝子 委員	高木 光成 委員
	高橋 俊哉 委員		
欠席者	瀧脇 美佐子 委員	武井 喜行 委員	菊池 孝子 委員
	芹澤 正博 委員	石井 純一 委員	山田 尚美 委員
会議次第	1 開会 (1) 障がい福祉センター所長挨拶 2 議事 (1) 部会長挨拶 (2) 新型コロナウイルスによる災禍の影響についてⅢ ～抽出された課題・要因を踏まえ、今後の対策や方策について意見交換をする～ 3 事務連絡		
資料	配布資料 ・ 次第 ・ 新型コロナウイルス感染症に関わる今後の対応策案 ・ アンケートから抽出した課題・要因（第2回まとめ）		
その他	公開状況：公開 傍聴人：なし		

## 1 開会

障がい福祉センター所長挨拶

○障がい福祉センター所長 みなさん、こんにちは。障がい福祉センターあしすと所長の高橋でございます。新型コロナウイルス感染症第8波が急速に広がっております。本日も対面のみで予定でしたが、急遽WEB併用の開催となりました。本日は主に新型コロナウイルス感染症の災禍の影響について積極的なご意見をいただきたいと思っております。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

## 2 議事

### （1）部会長挨拶

○酒井部会長 皆さま改めましてこんにちは。急遽、同じ部署内で新型コロナウイルス感染症の陽性者が出たため、WEB参加となりました。聞きづらい点などあるかと思っておりますがよろしくお願いいたします。

（2）新型コロナウイルスによる災禍の影響についてⅢ

○酒井部会長 第2回くらし部会で、皆様からいただいたご意見をまとめ資料2「第2回まとめ」を作成いたしました。後ほどご確認いただければと思います。本日、主に話を進めていきたいのが資料1「新型コロナウイルス感染症に関わる今後の対応策案」になります。前回の課題・要因の項目に対して、今後どのように対策をとっていくか私の方で何点か簡単に書かせていただいております。1ページ目左側に要因分析・課題分析、今後も想定できる課題について皆様からのご意見と追加のご意見を含めています。右側の今後の対応策案についてご意見をいただき、まとめたいと思っております。

くらし部会のテーマについては、2年間

の期間をもとに報告をあげることとなっております。今年は1年目ですが今年の成果ということで、まとめたものを来年2月の本会議で報告させていただきます。

それでは、皆さまから思いつく限りで構いませんので、ご意見をいただきたいと思っております。

「新型コロナウイルス感染症まん延後の生活の変化について」

### ①新型コロナウイルス感染症に関わる制度や制限によるもの

○酒井部会長 行事関係や施設特有の課題をいただいていると思います。今後の対応策について、私が練ってみたのが、施設のお祭り等の開催にガイドライン等が必要になるのではないかと考えています。施設内の活動において、感染対策の工夫や良い取り組みを共有できる方法があると良いと考えています。これ以外に対策案がございますか。三瓶委員、入所施設では制限がかかっていると思いますが、対策案などございますでしょうか。

○三瓶委員 行事関係にフォーカスしたものでしょうか。

○酒井部会長 活動等あるかと思っておりますので、行事関係だけでなくともよいです。

○三瓶委員 面会については、保護者の方に来やすい工夫ができないかと考えています。他の入所施設では、時間で区切ることをしていたり、WEBを活用しています。そのようなことを当事業所でもできないかと考えています。

### ②新型コロナウイルス感染症自体の感染の恐れによるもの

○酒井部会長 特にマスクの面などについても意見いただいております。これらの具体的な対策について模索中の部分が多いと

思います。新型コロナウイルス感染症対策の研修がいろいろな形である中で、具体的に外出や活動などの注意点を相談できる機会があるとよいと思います。

それでは森委員から居宅で必要となること、外出や移動支援で思いつくことなどありますでしょうか。

○森委員 新型コロナウイルス感染症の感染拡大で利用者さんも制限を受けています。事情を説明して可能な範囲でご自宅に入らせていただいています。今は東京都で新型コロナウイルス感染症検査キットが配布されるので、そちらで検査してからご自宅に入れるとお互いにとって安心かなと思います。

○酒井部会長 利用者さんもサービスを利用する上で、職員からうつるのではないかという不安感はあると思われま。サービスを利用するにあたり、利用者さんに検査を求めているケースはありますか。

○池田委員 来所するときに検査を求めているではありません。また、濃厚接触者の期間が終了していれば、検査キットの購入、自宅での検査などは求めています。必要があれば事業所に来所された際に行います。施設内で感染者が出た場合も、自宅内ではハードルは高いと思いますので、施設内で抗原検査を行います。

○酒井部会長 具体的な対策については、利用者、施設の状況を踏まえてとなります。いつ、どのタイミングで検査を促したらよいかわからない場面があり、相談できる機関があればよいと考えます。

### ③制限等により生活リズム・体調等に影響が出るもの

○酒井部会長 私から対策案をいくつか出させていただきました。1点目、サービスの利用の制限が事業所ごとに違うという意見

を聞いています。今後は制限の方法を共有できるとよいと考えます。2点目、マスク着用を求めているところですが、皮膚疾患等で着用できない方への対応も必要となってくると思います。3点目、ワクチン接種についてご自身が病院に行き接種することは難しい方もいると聞いていますので、通所先等で接種できるように要望していければと思っています。何か皆様からご意見等ございますか。

○高木委員 通所先でのワクチン接種について、あだちの里の通所先でワクチン接種をするので希望されますかとのアンケートが届いており、早速動いてくださっていると感じました。

○酒井部会長 新型コロナウイルス感染症の分類が変わり自己負担が出てくると状況に変化が生じると思われま。今後の政策の状況をみながら判断できるとよいと思います。他にご意見はございますか。

○鈴木委員 障がい特有の熱(こもり熱)について、まん延前なら通所を許可していただけたが、コロナ禍で休まざるを得なくなったところについてです。息子は夏場に通所バス内で直射日光に当たると体温がこもってしまい通所先についてから、熱を測ると37度台になることがあります。バスではカーテンを閉めていただいたりしていません。冬場は暖房があるため、すぐ上着を脱ぐなどしています。20分以上バスに乗り続けている方は多いと思いますが、熱がこもりやすい方は乗車前に親御さん等に上着を脱がせてもらうなど、検温の際に熱がこもらないように調整する必要があると思います。通所先においてこもり熱で帰らないといけないケースはあるのでしょうか。

○酒井部会長 私の所属施設では、看護師が利用者さんのこもり熱等の特性を把握し、

何度か測ったり、少し涼んでから測る工夫はしています。最初は病気からくる発熱か判断できませんでしたが、今ではだいぶわかるようになってきたと思います。

利用者さん特有の対応について共有できるとよいと思います。看護師を配置していない事業所もあると思います。事業所同士の共有ができるとよりよいかと思います。他に意見等ございますか。

○高橋委員 意見の中で身体障がいの場合モデルナだと副反応が強いのでファイザーにしたい。区役所に駐車場・エレベーターがあるが、モデルナしかなくて残念とあります。東京都の方で障がい者施設へのワクチンバスの派遣を行っています。これは、オミクロン株対応のファイザー社製を使用しています。できるだけ6の倍数での発注をお願いしますなどがありますが、これについては検討事項の中に入っていますでしょうか。

○酒井部会長 以前、東京都のワクチンバスを利用したことはありますが、最近やっているか、ファイザー社製かどうかの確認がとれませんでした。

○高橋委員 東京都のホームページをみるとファイザー社製となっています。終了したとの話は聞いていないのでやっていると思われる。

○酒井部会長 確認します。ご意見ありがとうございます。それでは次の項目に移ります。

「新型コロナウイルス感染症まん延後の福祉サービス利用について」

### ①事業所の都合による要因

○酒井部会長 ショートステイの利用については、閉鎖、制限といった状況がありました。サービスの提供側としては、様々な事業

に課題を持ちながら実施しているのが現状かと思います。まずショートステイ等の対策として、不特定多数の方の利用については条件を検討していく必要があると考えます。また、感染者増加期間は職員や家族が感染して濃厚接触者扱いとなり、出勤できないといった事態が生じます。応援の職員を確保する方策が必要と考えております。ショートステイについて、池田委員から意見ございますでしょうか。

○池田委員 グループホームでは職員や、職員の家族が感染するなど、職員数の不足が生じています。すぐに対策が取れない中、ぎりぎり頑張っているところです。

○酒井部会長 三瓶委員からご意見、具体的な対策等ございますでしょうか。

○三瓶委員 2点ございます。1点目は入居後にご家族の感染が分かったケースで、ご自宅に帰すことができないため、施設でみました。濃厚接触者の疑いがある方については、他の利用者さんに影響がないように、環境整備をしていく必要があります。2点目は、施設側に濃厚接触者や感染者が出た場合についてです。当事業所ではエリアを限定して、疑わしいエリアを空きにするなどのベッドコントロールをしながら受け入れをしております。

○酒井部会長 高木委員は職員の不足についてどのような対策をとっていらっしゃいますか。

○高木委員 職員が新型コロナウイルス感染症陽性や濃厚接触者となり出勤できない場合はローテーションを詰めて、動けるスタッフでグループホームを回す形を取らざるを得ないと考えております。そのようなこともあり、勤務時間は長くなりましたが身体的・精神的にそれほど大変ではなかったです。他から人を借りてくることは難し

いので、いる職員で回すしかなかったですが、こんなものかといった印象でした。

○酒井部会長 事業所によって独自に工夫されているところ、応援で体制を組んでいるところなどがあるかと思います。今後は状況をみながら組み立てていくしかないかと思います。

## ②新型コロナウイルス感染症の影響はあるが、生活等の維持はできているものについて

○酒井部会長 生活の場はより感染の対策が必要となる場面が多いと思います。通所先との連携方法も、事業所独自でやっていることも多いと思いますが、情報共有が検討できるとよいと思います。特にグループホームと通所先は様々な事業所が絡んでいることが多いかと存じますのでより共有ができるとよいと思います。

「新型コロナウイルス感染症まん延後の利用者家庭の変化について」

## ①新型コロナウイルス感染症に関わる制度や制限によるものについて

○酒井部会長 多くの事業所は単体施設です。複合施設については他の事業所にも多く影響があることが皆様のご意見からわかりました。影響の少ない運営方法が求められると思います。この点も情報を共有できるとよいと思います。また、施設側が求められている情報発信を検討する必要があります。東京都、足立区から通知、通達などの情報の共有は難しい部分があります。複数事業を運営されている森委員から他の事業に影響がでないような工夫をされていますでしょうか。

○森委員 陽性者が出ている状態ですが、気をつけていることとしては、家庭等への連絡です。現状等の連絡はしっかりと

います。落ち着いた後のケアなども、当たり前のことですが大事にしています。ショートステイから感染者が出れば、多くの方に影響が及びます。居宅介護においても、ご家庭の生活に影響が出ますので、健康面を確認しながら行っています。小さなところが日々重要だと感じております。

## ②新型コロナウイルス感染症自体の感染の恐れによるものについて

○酒井部会長 ご家庭内では施設や事業所より情報が少ないことは前回ご意見いただいております。補足として事業所側から様々なケースの感染症状の初期対応事例を共有できるとよいと感じました。また、ケースにもよりますが感染時の入院の確保のための相談ができるようになることよいと思います。ご意見の中で、ご家庭でみきれないといったことが出てくるかと思います。先日、利用者さんが陽性になり、入院の手配をしようとしたができなかった事例がありました。難しい問題だと感じております。そして、発熱時等で主治医だけでなくかかりつけ医、近隣に障がいの理解があり受診できる病院等があるとよいと思います。かかりつけ医があれば、そちらに相談すればよいが、持っていない方で聞きたいことが聞けずに困ることや、入院ができないといったことをお聞きしております。障がい理解のある病院があるといいのではないかと思います。このように対策案を挙げましたが、鈴木委員から他に意見はございますでしょうか。

○鈴木委員 PCR検査後、陽性、陰性等で待機する日数が何日間かあるかと思います。その間、ヘルパーの利用ができないといった意見を聞いております。親だけで支援できない家庭がある中で、PCR検査結果待ちでも身体障がいの場合、ネックになっているとの意見がありました。

○酒井部会長 居宅のサービス、ショートステイにしても、我々事業所側の都合ですが、他の方に向つてことを考えます。検査結果待ち期間は早ければ当日、遅くとも2日が多いと思います。以前のように3、4日かかることはほとんど無くなってきたかと思えます。今は抗原検査キットを利用して、東京都登録センターに登録して陽性であれば、陽性判定が数時間で出ている事例もあります。事業所側と相談しながら、検査の待機期間を短くすることも大事だと思います。

○鈴木委員 抗原検査キットは各家庭に1個買っておいた方がいいでしょうか。

○酒井部会長 そう思います。あいのお福祉会では各事業所に抗原検査キットを用意しています。緊急の場合は使う場合もあります。抗原検査キットで検査をして陽性となると、病院側から陽性なので来なくてよいと言われるケースがほとんどです。みなしで陽性となることが多くなりました。そうした点からも、検査キットがご家庭に1つあると良いのではないかと感じています。東京都で抗原検査キットの無料配布は行っているのでしょうか。

○池田委員 施設職員が定期的に行うものと万が一利用者が陽性になった時に使うものを毎週事業所としていただいております。

○酒井部会長 半年前に家族が陽性になった時に、東京都に登録して一般家庭向け用を送ってもらったと思います。今でもおそらく実施していると思われます。いずれは有料になるのではないかと思います。

○池田委員 東京都から毎週もらってはいますが、陽性者が出た場合には全員検査となり、不足をすると購入もしています。必要な時に必要な数が足りないため、東京都とは別に全員が接種できる数を用意しています。

○佐藤オブザーバー 東京都で抗原検査キットの配布は行っています。9月26日から配布対象を全年代に拡大しています。申し込みは専用サイトからで、難しい方は問い合わせになると思われます。ホームページ上ではまだ行っているとのこと。

○酒井部会長 その他②の項目でご意見はございますでしょうか。

### ③制限等により生活リズム・体調等に影響が出るものについて

○酒井部会長 抗原検査キットの情報もそうですが、新型コロナウイルス感染症対策や注意点の情報を提供できる機会があるとよいと思います。また、定期的に医師によるご家族、ご利用者向けの相談会もあるとよいと思います。正直、事業所の情報は全てを網羅しているとはいえ、見聞きしたものも多いと思います。東京都や足立区の対策の通知をいただきますが、具体的にどう動いたらよいかなどのご家族の質問に答えられない場面もありますので、そうした機会も重要だと思います。皆様から、こういった情報があればよいなどのご意見はございますか。あしすとは利用者さんに情報発信はされているのでしょうか。

○高橋委員 情報発信とは具体的にどのようなものでしょうか。

○酒井部会長 例えば抗原検査キットが無料で申し込みますといった情報は提供されていますか。

○高橋委員 一斉には情報提供しておりません。その都度相談があれば、個別に対応しております。

○酒井部会長 どこで検査ができるかといった質問をよく受けます。そうした情報提供は行っていますか。

○高橋委員 区役所などで症状がなければ検査ができます。発熱等がみられる場合は

かかりつけ医やご自身で探していただいているのが現状です。

○事務局 生活体験室では、先月利用者さんが陽性となり、3日間休所となりました。その間毎日、全員のご家庭に電話連絡を行いました。一人ひとりスマホの使用が可能かどうかなど状況が違いますので、個別の状況に合わせた相談に応じて、お近くの病院等の情報提供等を行っています。家族会については一斉に開けないため、グループごとの少人数で行い、可能な範囲で新型コロナウイルス感染症等の情報提供を行っております。

○酒井部会長 あいのお福祉会でも保護者会を開くと、ほとんどが新型コロナウイルス感染症対策の話題となります。どこの事業所においても同様の内容かと思えます。様々な質問や情報提供を共有できるとよいかと思えます。

④についてはできているものですので、対策は練っておりません。

「新型コロナウイルス感染症まん延後の福祉サービス提供について」

### ①新型コロナウイルス感染症に関わる制度や制限によるものについて

○酒井部会長 新型コロナウイルス感染症自体が心配で通所等を休む方がいらっしやると思えます。東京都、足立区に様々な補助をいただいて事業所が運営できているものと思えます。通常時より、通所サービスにおいては、

10%~20%くらいは通所率が落ちているところや、短期入所や居宅介護で利用制限されると、半分近い利用率しかないところを見聞きしています。事業所としては運営自体が厳しくなることもあるかと思えます。そのため、必要な時期に必要な補助制度

を提供していただけると安定的な供給が可能になると思えます。制限等で事業運営の厳しい面もあるかと思いますが、森委員から具体的な対策等の意見はございますでしょうか。

○森委員 東京都の補助金が出るかなど情報はこまめにチェックしています。そうした情報を共有できると良いと思えます。どこの事業所も、事業を停止すると運営が厳しくなるものから、情報共有の場はあると良いと思えます。

○酒井部会長 三瓶委員からご意見ございますでしょうか。

○三瓶委員 新型コロナウイルス感染症の影響で通所率の低下は、深刻な問題となることを足立区等に補助いただき助かっています。徐々に感染者数が減少してきた際に感染が心配で通所しない方もいると思われます。体調管理しやすいため、自宅にいる方がよいと考える人もいるかもしれません。通所するだけでなく、計画書にそって自宅に伺うことやWEBでつながることを通所したと同等とみなしていただけると利用者さん、施設共にありがたいと感じます。国のガイドラインのため、工夫や修正は難しいところもあるかと思いますが、検討いただきたいと個人的に思っております。

○酒井部会長 どの事業においても補助等がないと運営が難しいと思えますので、ここは継続してお願いできると良いと思えます。

### ②新型コロナウイルス感染症自体の感染の恐れによるもの

○酒井部会長 利用者を受け入れることに慎重にならざるを得ない状況にあるかと思えます。対策として、新規利用の方を必ずお断りということはできないかと思えます。事業所として利用条件や検査条件を明示で

きるとよいと思います。足立区の入所調整ではレントゲン検査を必須としています。そのような新型コロナウイルス感染症に対する検査等の条件をつけての入所許可も一つの手かだと思います。

区外の入所施設ではPCR検査を受けることを入所要件としているところが増えてきました。三瓶委員の施設では、そうした要件を設けていますでしょうか。

○三瓶委員 今のところ全ての方には設けておりません。個別に受けていただくことをお願いしたことはございました。ご家族の方が感染していることがわかり、利用者さんに抗原検査を受けていただいたこともあります。酒井部会長のご意見について、具体的に要件を決めることによって新規利用につながるのであれば、とても良い案だと思います。

### ③制限等によって生活リズム・体調等に影響が出るものについて

○酒井部会長 対策案として、活動等ができないために、体調面での変化がみられる利用者さんがいるため、制限下でもできる取り組みなどの共有化を図っていかれるとよいと思います。制限下で取り組まれている活動など高木委員からございますでしょうか。

○高木委員 第7波が落ち着いてきている際に季節ごとのイベントなど実施の案が出ましたが、第8波の影響ができており、できません。普通に生活してはいるものの、特別な余暇活動ができていない状況にあります。

○酒井部会長 新型コロナウイルス感染症を考えると実施に踏み切れないところがあるかと思います。また、さまざまな活動が第8波の影響で来年できるかがあやしい状況です。制限下でもできる活動の共有化を図

ってもよいかと思います。

「衛生用品や感染症対策必需品について」

### ①新型コロナウイルス感染症の影響により負担が増えているものについて

○酒井部会長 足立区から定期的にマスク、グローブ、消毒液等を提供いただいております。それでも流行前より、衛生物品の使用頻度が増えていますので、負担が増えているところについては補助等を検討いただきたいと思います。

○高木委員 マスク、消毒液等現物支給であったのが、購入したものを足立区に申請して補助金をもらう形に変更となっています。

○高橋委員 補足させていただきます。足立区で行っていた衛生物品配布事業について、国からの物品供給終了により9月で終了しております。令和4年下半期分の衛生物品の購入支援として足立区独自の特別給付金支給事業を行うこととしました。

1月4日付けで障がい福祉課長名にて皆様に通知が発出されているかと思います。新型コロナウイルス感染症対策のための衛生物品購入経費等を目的とした区独自の特別給付金支給事業についてです。併せて「物価高騰支援に係る障がい福祉サービス等事業所に対する特別給付金支給事業について」も一緒に通知が発出されております。すでに申請されている事業所もあるかと思いますが提出締め切りが令和5年1月31日必着となっております。まだ申請されていない事業所におかれましてはもれなく提出されるようお願いいたします。

○酒井部会長 特に衛生物品についてはこの利用者さんも使われているかと思いますが、区独自の補助を有効活用していきながら継続した運営をしてほしいと思います。



内容につきましては修正しておきます。

## ②衛生物品自体の問題・課題について

○酒井部会長 それぞれの事業所、家庭ごとの課題がございました。新型コロナウイルス感染症が流行してからどのようなルールになっているかも不明な点が多く出ています。こうしたことについても情報共有の場があるとよりよいのではと思います。森委員から前回出た課題等の対策で工夫されていることはございますでしょうか。

○森委員 ヘルパーが消毒液、グローブ、エプロン等を持参し回収して持ってくる体制をとっております。

## ③新型コロナウイルス感染症自体の恐れによるもの

○酒井部会長 主にマスクの内容について前回挙げていただきました。やはり予防的観点からマスクを着用できない方への具体的な対策を医療機関等に明示してもらえるとよいと思います。利用者の方でマスクをできない方がいらっしゃいますので病院受診や外出時などに様々な不安がつかまとうと思います。医療機関がこのような対策をとれば大丈夫だと明示していただけるとよいと思っております。

## ④新型コロナウイルス感染症の影響はあるが、生活等の維持はできているものについて

○酒井部会長 特に医療的ケアが必要な障がいのある方のご家族への支給調査について前回お話いただきました。その都度必要な衛生物品等問題提起していけばよいと考えます。

「新型コロナウイルス感染症陽性時について」

## ①事業所等の体制維持のための課題について

○酒井部会長 施設内での集団感染等で体制維持ができない場合は、何らかの応援体制は必要だと考えています。また、職員の新型コロナウイルス感染症関連での休みが複数出た場合の運営の在り方も検討が必要と考えております。グループホーム等で待機になった場合の補助等も検討いただきたいと思います。3点对策案を考えましたがその他、ご意見ございますでしょうか。シフト勤務で苦勞も多いと思いますが、三瓶委員いかがでしょうか。

○三瓶委員 今年7月に当事業所から多くの感染者が出ました。その際に取った対策は、スケールメリットを活かすことを考えました。

具体的には非感染エリアの応援職員を持って来る、入所が手薄となったところを通所で補うなどです。もう一段階レベルを上げるところとして、法人のスケールメリット活かすということが考えられます。法人内の通所施設から応援職員を要請するなどです。そうした段階を考えておりますが、今年7月の際は他施設から応援職員を要請するには至りませんでした。

○酒井部会長 池田委員のところでも工夫されている方策などありますか。

○池田委員 何とかグループホームの職員で回しております。日中の職員が足りなくなりますが、負担が少ないところを作業所の職員から応援をもらって対応しております。自閉症の方が多く、利用者さんが混乱してしまうため、知らない職員が応援に行くわけにはいきません。慣れている作業所職員に土曜、日曜の何時間か入っていただき対応しております。

○酒井部会長 普段慣れている職員が利用者さんにとってよいでしょうし、知らない方が来ても難しいことも多いと思います。

東京都で行っている職員の応援制度もほぼ利用されていないと聞いております。そこが一番の理由でないかと思います。まずは、自分の事業所内で工夫することが第一義的にとる方策かと思います。

## ②政策や保健所・医療機関等の受け入れの課題について

○酒井部会長 病院等に受け入れの問題があることが意見としてありました。できる限り関係機関と相談しながら事前に案内できるとよいかと思います。先ほどお話しした、先日陽性になった方は基礎疾患がある方で、それが入院を断られた原因でした。障がい福祉課に相談して、救急車を呼びましょうとなり、最終的に病院が見つからず自宅にとどまることとなりました。そうした事例もありますので、事前に関係機関と対応を相談できるとよいと思います。また、障がいのある方の発熱の窓口があるとよいかと思います。一般の病院ですと理解いただけない面もあるかと思うので相談できる窓口があるとよいと考えます。鈴木委員何か対策についてご意見ございますでしょうか。

○鈴木委員 主治医以外の病院を受診することがないので普段病院を探すことをあまりしないと思います。また、主治医を持っていない方もいるかと思います。新型コロナウイルス感染症の拡大で主治医の重要性を感じております。区外に出られないとなると近場の医療機関に軽い風邪等でも利用しながら、障がいの理解をしていただくためにも受診が必要かと思います。障がい理解がなく躊躇したり、発作が出て診ていただけないケースもあります。またクリニックによっては1度受診した人など診察券がないと発熱外来で診てくれない所もあります。医療機関について保護者同士の情報共有も

併せて必要かと思います。

○酒井部会長 新型コロナウイルス感染症1年目は事業所間でPCR検査を受けられるところをよく共有していました。情報共有や相談窓口があるとよりよいと思います。

○高木委員 通所先の協力医療機関は比較的スムーズに診てもらえます。通所先を利用されていない利用者さんも、そちらの通所先の協力クリニックに受診して快く診ていただいております。

○酒井部会長 ほとんどの事業所では協力医療機関があります。通所をされていなくとも紹介していただければよいのではないかと思います。障がい理解のある病院を探すことは大変かと思います。各事業所の協力医療機関を集約すると区内ほとんどのエリアを網羅できるかと思いますのでそうしたことも共有できると良いと思います。他にご意見ございますでしょうか。

○池田委員 病院の情報はすぐに集められるかと思います。足立区等に主導いただき一覧化することがすぐにできるかと思いません。そちらを施設間で共有すると別の病院を受診する選択肢がとれますので、早めに行えることはやっていきたいと思えます。

○酒井部会長 さまざま情報の共有が対策案として出てきています。事業種別ごとのネットワークはあっても、全事業所間のネットワークは無いかと思えますのでこれを機に作っていききたいと思います。

○高木委員 グループホームですとグループホームネットワークがあります。2、3ヶ月に1回集まっております。

○酒井部会長 障がい福祉施設ネットワークは生活介護だけでしょうか。就労系事業所のネットワークなどもありますか。

○事務局 施設ネットワークは現在生活介護のみです。他に就労支援ネットワーク、相

談支援事業所ネットワーク、こども発達支援事業所ネットワークがあります。

○酒井部会長 全事業所のネットワークを作ることは可能でしょうか。

○事務局 ネットワークでどのような情報を共有するか具体的に決める必要があると考えます。医療機関についての情報共有であれば、施設ネットワーク等でも可能になると思います。

○酒井部会長 新型コロナウイルス感染症に関わるものだけでもかなり多くの事業所が関心を持つと思います。くらし部会としてそうしたネットワークの構築を本会議に挙げたいと思います。本会議で取り上げることで多くの事業所に周知できると思われませんが、本会議で取り上げてほしいのでしょうか。

○高橋委員 先ほど事務局からもありましたが、各ネットワークはそれぞれ目的をもって活動しております。目的が明確でない、全事業所が集まることはハードルが高いかと思えます。

○酒井部会長 介護保険分野でも同様にネットワークがあり、事業体ごとに部会がありそちらを取りまとめるものがあると伺っております。そちらは足立区主導で行っているのでしょうか。

○高橋委員 申し訳ございません把握しておりません。

○高木委員 これは事業所間のネットワークを構築する話か、一人の利用者さんに対する情報を関わっている事業所で共有する話かどちらでしょうか。

○酒井部会長 前者です。まずは情報を共有するネットワークを構築していきたいと思えます。

○高木委員 全利用者を網羅するとなれば大変であります、そうしたことであれば

取り組みやすいのではないかなと思います。

○池田委員 特に新型コロナウイルス感染症の話をしてはいますが、このような医療機関を受診できるといった情報を様々な方と共有できるとよいと思います。全事業所を網羅した組織を立ち上げるネットワークができたならよいと考えますが、課題があると思います。障がい福祉課が提携医療機関の情報を集めて流すといったことは取り組めるのではないのでしょうか。

○高木委員 くらし部会も多くの事業所が集まるネットワークの一つですし、グループホームネットワークに話を持っていくことも可能です。

○池田委員 今あるネットワークで本件を出していただき情報を集めることで沢山の情報が集まるのではないかと思います。新型コロナウイルス感染症に対する情報だけでも早く情報共有ができればよいと考えます。

○酒井部会長 本会議にて提起していきたいと思えます。自立支援協議会以外のネットワークも当然あると思えます。現状を把握できていませんが、そうしたネットワークも巻き込んで、情報共有ができればと思えます。

○高木委員 今あるネットワークを把握することは可能でしょうか。

○酒井部会長 可能であると思えます。整理して巻き込んでいきたいと思えます。話を戻します。

### ③生活の維持のための課題について

○酒井部会長 通所先等気軽に相談できる窓口があるとよいと思っています。利用者さん同士、ご家族同士での交流機会が減少し情報が少ない状況かと思えます。自分で考えること、手続きが必要なことが出てきているかと思えますので、相談窓口がある

とよいと思います。鈴木委員から他にご意見ございますでしょうか。

○鈴木委員 高齢の父もしくは母のみと障がい者を有する子の世帯についてです。ヘルパーを利用して生活しているが、新型コロナウイルス感染症に罹患しヘルパーを利用できなくなった場合、どこに電話相談すればよいのかだけでもパニックになると思われます。親としては、まずは通所する施設に相談させていただけると安心できます。東京都の発熱外来などに相談する方法がありますが、世帯によってはそこまで頭が回らない場合もあります。通所施設に相談窓口があると助かるのですが、いかがでしょうか。

○酒井部会長 一法人の意見として聞いていただけますと幸いです。ご家族や利用者さんから様々の相談を受けており、実施は可能かと思えます。サービス利用先に相談した方が早く情報を得られる場合もあるかと思えます。一方でそこまで手が回らない事業所があることも承知しております。そうした点からは窓口が明確化されるとよいかと思えます。また、複合的にサービスを提供している事業所が多く情報を持っているかと思えます。先ほどのネットワークの話に絡めてできるとよいかと思えます。

#### **④新型コロナウイルス感染症に関わる情報共有について**

○酒井部会長 対策案として、陽性者や濃厚接触者の情報等と書かせていただきましたが、新型コロナウイルス感染症に関わる情報全般としての情報共有ができればとよいと思います。協議体も重要ですが、登録して情報共有できるツールなどがあるとよいと思います。先ほど、池田委員からお話があった病院のリストについても、各事業所が打ち込んでいけば話し合わなくてもネット

ワークの1つになるかと思えます。共有したい方だけでもよいかと思えます。お会いしたことの無い事業所とも情報が共有できたらと思えます。区内の事業所において、陽性者やクラスターが出た場合、障がい福祉課やあしすとでは情報共有されていますでしょうか。

○高橋委員 障がい福祉課で集約した情報の共有があります。

○酒井部会長 ホームページにあがっているクラスター以外の情報も共有されていますでしょうか。

○高橋委員 しております。

○酒井部会長 どこかのネットワークが主体になって、何らかの方策を行うことは可能ということになりますでしょうか。

○高橋委員 障がい福祉センターとしてはあくまでも障がい福祉課で集約したその日の陽性者情報の提供を受けているスタンスです。通所バスの運行を止めるなどの必要性が想定されるためです。

○酒井部会長 他にご意見ございますでしょうか。それでは本日の協議はここまでとさせていただきます。まとめにつきましては事務局にて行っていただけますでしょうか。欠席された方が多く、書面でもよいので委員の皆様からご意見いただくことは可能でしょうか。

○事務局 欠席された委員の皆様は資料1を送付してご意見をいただく形でもよろしいでしょうか。本日のまとめについては資料1を本日のご意見と欠席の方のご意見を踏まえて、今後の対策案を追記、変更するような形でもよろしいでしょうか。

○酒井部会長 そのようにお願いいたします。半数近くが欠席しておりますので、皆様の意見が聞けずと幸いです。

○事務局 承知いたしました。皆様からの

ご意見いただくことは直ぐに取り掛かります。まとめに関してはお時間少しいただくことをご了承ください。

○酒井部会長 まとめたものを送付いただき、今年度のまとめとさせていただきます。

### 3 事務連絡

○事務局 足立区自立支援協議会本会議は令和5年2月21日(火)に開催します。まとめについては今年度の協議内容を中間まとめとして本会議にて報告することになります。追加のご意見等ございましたら、事務局までお願いいたします。

以上をもちまして、第3回足立区地域自立支援協議会くらし部会を終了いたします。ありがとうございました。